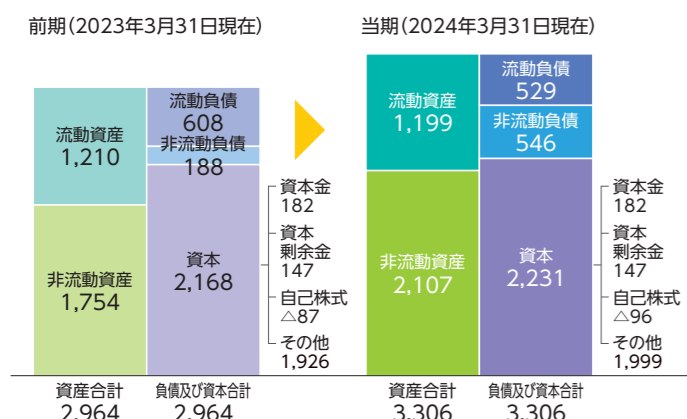




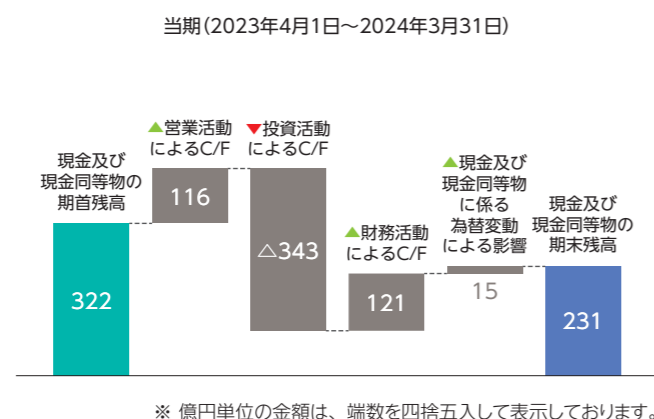
科目	第109期 (2021年度)	第110期 (2022年度)	第111期 (2023年度)
売上収益	(億円) 1,683	1,913	1,780
営業利益	(億円) 201	224	128
税引前利益	(億円) 204	230	139
親会社の所有者に帰属する当期利益	(億円) 142	169	97
基本的1株当たり当期利益	(円) 241.91	288.10	173.03
資産合計	(億円) 2,826	2,964	3,306
資本合計	(億円) 2,007	2,168	2,231
親会社の所有者に帰属する持分	(億円) 1,992	2,152	2,214
親会社所有者帰属持分比率	(%) 70.5	72.6	67.0
1株当たり親会社所有者帰属持分	(円) 3,402.44	3,675.34	4,022.68

(注) 2024年1月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っています。  
基本的1株当たり当期利益および1株当たり親会社所有者帰属持分につきましては、すべて2024年1月の分割後に換算して表示しております。

## ■ 財政状態 (単位: 億円)



## ■ キャッシュ・フローの状況 (単位: 億円)



## 会社の概要 (2024年3月31日現在)

商号 株式会社クレハ  
 英文社名 KUREHA CORPORATION  
 本社 東京都中央区日本橋浜町3-3-2  
 設立 1944年6月21日  
 資本金 18,169百万円  
 グループ従業員数 4,217名(単独: 1,667名)  
 連結対象会社数 29社  
 (連結子会社 28社、持分法適用会社 1社)  
 ホームページ https://www.kureha.co.jp/

## 役員 (2024年6月26日現在)

代表取締役社長 小林 豊  
 取締役常務執行役員 田中 宏幸  
 取締役常務執行役員 西畑 直光  
 取締役常務執行役員 名武 克泰  
 社外取締役 戸坂 修  
 社外取締役 飯田 修  
 社外取締役 岡藤 由美子  
 常勤社外監査役 林 道彦  
 常勤監査役 坂根 司  
 社外監査役 奥野 克男  
 執行役員 佐藤 浩幸  
 執行役員 木田 淳  
 執行役員 上山 隆久  
 執行役員 川名 恭介

## 株式の状況 (2024年3月31日現在)

発行可能株式総数 180,000,000株  
 発行済株式総数 58,576,221株  
 株主数 12,198名

## 大株主の状況 (2024年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,448	11.7
野村 綯	5,262	9.6
明治安田生命保険相互会社	4,123	7.5
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	3,894	7.1
東京海上日動火災保険株式会社	1,650	3.0
株式会社みずほ銀行	1,200	2.2
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	1,106	2.0
株式会社かんぽ生命保険	1,064	1.9
GOVERNMENT OF NORWAY	1,061	1.9
THE BANK OF NEW YORK, TREATY JASDEC ACCOUNT	873	1.6

注) 持株数は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しています。  
持株比率は自己株式を控除して計算しています。

## 株式の所有者別構成比 (2024年3月31日現在)



## 今までどおり書面で株主総会資料のお受取りを希望される株主様へ

会社法の改正により、2023年3月以降に開催される株主総会から、これまで郵送してました株主総会資料(株主総会参考書類、事業報告、計算書類および連結計算書類等)は、原則ウェブサイトでのご確認へと変わりました。

インターネットのご利用が困難であるなどの事情により、書面の株主総会資料を希望される株主様は、右記の窓口にお問い合わせの上、書面交付請求のお手続きをお願いいたします。

書面交付請求の受付、お問い合わせ窓口

証券会社  
 ▶ お取引をされている証券会社  
 みずほ信託銀行 証券代行部  
 専用ダイヤル  
 ▶ 0120-524-324  
 (平日9:00~17:00)

## ● 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月

株主確定基準日 定時株主総会 3月31日  
 期末配当 3月31日  
 中間配当 9月30日  
 その他必要がある時は、取締役会の決議によってあらかじめ公告します。

公告方法 当社のWebサイトに掲載します。  
 (https://www.kureha.co.jp/ir/stocks/koukoku.html)  
 ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内1-3-3  
 みずほ信託銀行株式会社

## お取扱窓口

証券会社等に口座をお持ちの場合、住所変更や買取請求等株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社等経由で行っていただくこととなりますので、お取引の証券会社等へご連絡をお願いいたします。  
 証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)、下記のお取扱店にてお取次いたします。  
 なお、支払明細の発行に関するお手続きにつきましては、みずほ信託銀行の下記連絡先にお問い合わせください。

● お問い合わせ先 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4  
 みずほ信託銀行 証券代行部  
 フリーダイヤル 0120-288-324  
 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)

● お取扱店 みずほ信託銀行(※)  
 (※)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。

● 未払配当金のお支払 みずほ信託銀行(※)およびみずほ銀行  
 (※)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

株式会社クレハ  
 KUREHA CORPORATION

## KUREHA REPORT

クレハレポート 第111期 期末報告書

2023年4月1日 → 2024年3月31日



## 第111期剰余金の配当(期末配当)に関する取締役会決議

当社は、剰余金の配当等の決定に関して、将来の事業展開に向けた積極投資に資する内部留保を充実させつつ、安定的な配当を行い、目標配当性向を30%以上とすることを基本方針としております。よって、配当金については、直近の配当予想のとおり1株当たり43円34銭とすることといたしました。

## 1株当たりの配当金(円)

	110期 <sup>*1</sup>	111期
中間	125	130 <sup>*1</sup>
期末	145	43.34 (130.02) <sup>*2</sup>
年間	270	(260.02) <sup>*2</sup>

2024年1月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っています。

※1. 株式分割前の1株当たり配当金

※2. 株式分割前換算

2024年6月26日  
 東京都中央区日本橋浜町3-3-2  
 株式会社クレハ  
 代表取締役社長 小林 豊

## 第111回 定時株主総会決議ご通知

拝啓 平素は、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、6月26日開催の第111回定時株主総会において、下記のとおり報告ならびに決議されましたので、ご通知申し上げます。

敬 具

記

## 報告事項

- 第111期(2023年4月1日から2024年3月31日まで)事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
- 第111期(2023年4月1日から2024年3月31日まで)計算書類報告の件

## 決議事項

## 第1号議案 取締役7名選任の件

本件は、原案のとおり承認可決され、小林 豊、田中宏幸、西畑直光、名武克泰、戸坂 修、飯田 修、岡藤由美子の7名が再選、重任いたしました。

## 第2号議案 監査役1名選任の件

本件は、原案のとおり承認可決され、坂根 司が新たに選任され、就任いたしました。

## 第3号議案 補欠監査役1名選任の件

本件は、原案のとおり承認可決され、吉田 麗子が選任されました。

以 上

株式会社クレハ  
 KUREHA CORPORATION

証券コード: 4023



## 持続的成長による企業価値向上へ

ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当社第111期(2023年4月1日から2024年3月31日まで)の「クレハレポート」をお届けします。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2024年6月

代表取締役社長 **小林 豊**

### ◆ 当期の概況について

当期のわが国を含む世界経済は、コロナ禍から経済社会活動の正常化が加速する一方で、中国および欧州経済の減速や中東およびウクライナ情勢の長期化、世界的な金融引き締めに伴う影響等が懸念され、先行きが不透明な状況が続きました。このような状況のなか当期は、電気自動車(EV)向けリチウムイオン二次電池用バインダーとして使用されているフッ化ビニリデン樹脂(以下、「PVDF」)の売上収益が減少したことに加え、熱収縮多層フィルム事業撤退に伴う費用計上、および中国におけるPVDF製造設備の増強計画中止に伴う費用を計上したこと等により、売上収益は前期比7.0%減の1,780億円、営業利益は同42.7%減の128億円、税引前利益は同39.5%減の139億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は同42.3%減の97億円となりました。なお当期期末配当金は、1株につき43円34銭(2024年1月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の割合で実施した株式分割後の換算ベースで、前期比約4円99銭減)とさせていただきます。

### ◆ 『クレハグループ中長期経営計画ローリングプラン2025』の策定

当社グループは、2023年4月よりクレハグループ中長期経営計画「未来創造への挑戦」を開始し、「中長期的な企業価値の向上」と「持続可能な社会への貢献」の両立を目指すサステナビリティ経営の実現に向けて活動を開始しました。しかしながら、成長ドライバーの中心と位置づけておりましたリチウムイオン二次電池用バインダー向けのPVDF事業が、EV市場の一時的な成長率の鈍化により停滞を余儀なくされる等、初年度である2023年度から当社グループの業績は想定を大幅に下回る結果となりました。EV市場は中長期的には引き続き成長が予想されるものの、短期的には市場成長率が鈍化していることにより、PVDF事業は在庫調整局面に入っております。また、2023年3月末に東京証券取引所より「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」が要請されました。本経営計画は、資本コストや株価を意識した内容であったものの、株主の皆様との対話を重ねた結果、これまでの業績重視に加えて資本収益性も重視するバランス経営を実行していくこととしました。

かかる当社を取り巻く環境の変化を踏まえ、今後の持続的成長による企業価値向上を確かなものとしていくため、「クレハグループ中長期経営計画ローリングプラン2025」を策定し、既存事業における成長施策および全社でのコスト削減策に基づいて2025年度の業績目標を修正し、併せて重要業績評価指標および資本政策における新たな目標設定を行いました。

2025年度 業績目標		2025年度 重要業績評価指標	
売上収益	1,850億円以上	ROE	8%以上
営業利益	200億円以上	PBR	1.0倍以上

### 資本政策

- 配当性向30%以上。また、2025年度までの1株当たりの年間配当額の下限は86.7円
- 総還元性向50%以上。また、2023年度から2025年度末までの3年間の累積自己株式取得金額は400億円程度に倍増
- 自己資本比率の適正水準は、これまでの60%程度から50%程度に見直し

### ◆ 2024年度通期業績および配当予想について

2024年度通期の業績予想につきましては、PVDFがリチウムイオン二次電池用バインダー向け、PPS樹脂は自動車向けを中心に、しばらくの間は緩やかながらも中長期的には堅調な需要が続くと見込んでおります。PGA(ポリグリコール酸)樹脂加工品は拡販と共に収益力の改善を進めてまいります。農業は在庫調整局面に入ったことにより、一時的な損益悪化を予想しております。2024年度の通期連結業績については、売上収益は前期比4.5%減の1,700億円、営業利益は同9.4%増の140億円、税引前利益は同0.6%増の140億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は同2.7%増の100億円を予想し、最低必達水準としました。また、今期は通期1株当たりの予想配当額を86.7円(配当性向45.3%)といたしました。

『クレハグループ中長期経営計画ローリングプラン2025』の着実な達成を通じて、企業価値の向上を実現しつつ、より社会に貢献できる企業を目指してまいります。

株主の皆様には、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# おかげさまで 80 周年

クレハは2024年6月21日に創立80周年を迎えました。

当社の前身である昭和人絹(株)が呉羽紡績(株)に吸収され、

1944年6月に呉羽紡績(株)の化学部門が分離独立し、呉羽化学工業(株)が設立されました。

設立当初は肥料やか性ソーダ・合成塩酸など無機薬品が当社を支えておりました。

その後、塩素の高度利用に取り組み、樹脂の開発に力を注ぎました。

中でも「塩化ビニリデン樹脂」は独力で開発に成功した最初の研究開発品です。

その後も独自の「有機合成技術」「高分子技術」「炭素制御技術」

「評価技術」「プロセスエンジニアリング技術」を駆使して、

他社が行わない分野で独自の開発を進め、

さまざまな製品を創出してまいりました。

2005年10月に社名を株式会社クレハに変更し、

化学工業にとらわれることなく、

さらに独創的なモノづくりを推進しております。

## グローバル展開

2005年10月1日  
株式会社クレハに  
社名変更



2012年

PGA米国プラント  
商業運転開始



世界初の  
工業生産

1987年

PPS樹脂  
「フォートロンKPS」  
生産開始



1989年

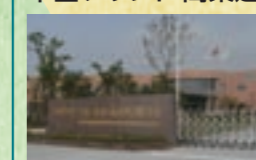
「NEWクレラップ」  
販売開始



V字羽  
「クレハカット」

2015年

フッ化ビニリデン樹脂  
中国プラント 商業運転開始



## 高付加価値事業への推進

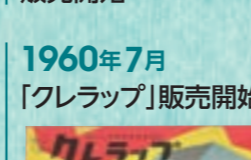
1971年

釣糸「シーガー」  
販売開始



1956年

「クレハロンフィルム」  
販売開始



1960年7月

「クレラップ」販売開始



日本初の家庭用ラップ

1971年

独自技術で  
活性炭生産開始

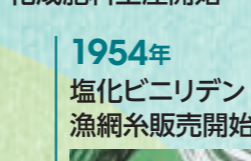


球状に

## 石油化学工業への進出

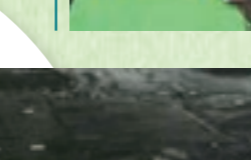
1953年

塩化ビニリデン樹脂、  
化成肥料生産開始



1954年

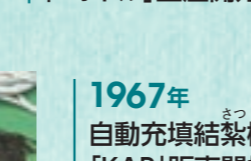
塩化ビニリデン  
漁網糸販売開始



世界初の  
軟質プラスチックチューブ

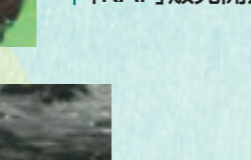
1966年

ケチャップ用  
「Kボトル」生産開始



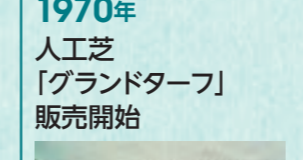
1967年

自動充填結紮機  
「KAP」販売開始



1969年

世界初のピッチ系  
炭素繊維の工業化



1970年

人工芝  
「グラントーフ」  
販売開始



1970年

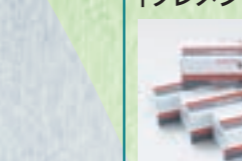
フッ化ビニリデン樹脂  
「KFポリマー」  
生産開始



日本初の  
工業生産

1991年

慢性腎不全用剤  
「クレメジン」販売開始



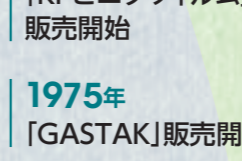
2015年

塩化ビニリデン樹脂  
プラント増強



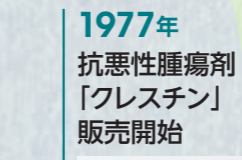
1975年

「KFピエゾフィルム」  
販売開始



1975年

「GASTAK」販売開始



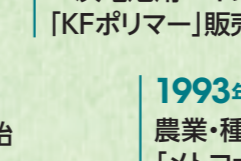
1977年

抗悪性腫瘍剤  
「クレスチン」  
販売開始



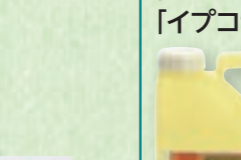
1993年

リチウムイオン  
二次電池用バインダー  
「KFポリマー」販売開始



1993年

農業・種子消毒用殺菌剤  
「メトコナゾール」  
「イブコナゾール」販売開始

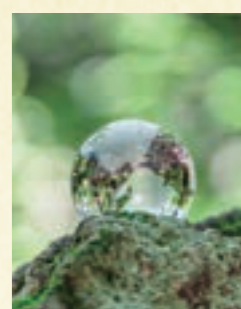


## 2024年～新事業創出へ

### ● PFAS無害化技術

米国スタートアップ企業 Claros Technologies, Inc.との協業により、低分子PFAS(有機フッ素化合物)を安全な副生成物に変換する完全無害化プロセスを開発中です。環境負荷低減に貢献する新たな事業モデルの構築を進めます。

### 環境・エネルギー



### ● バイオスティミュラント

植物の成長を促進させるバイオスティミュラントの開発を推進。圃場試験では、作物の収量増加が確認されています。食糧需要が高まる中、持続可能な農業と食料の安定供給に貢献します。

### ライフ



### ● 3Dタッチパネル

英国スタートアップ企業 Cambridge Touch Technologies Ltd.と開発を推進。スマートフォンや車載向けディスプレイ、一般産業や医療用途などさまざまな産業への展開が期待されます。

### 情報通信



2024年  
東京研究所 新設

2026年予定  
いわき事業所  
フッ化ビニリデン樹脂  
プラント増強